

極楽の調べ



いにしえより、仏教では音楽(雅楽)をととも大切なものとして扱ってきました。仏教の荘厳のために、儀式で雅楽は重要な位置を占め、また、仏教の經典類には楽や舞の描写がたくさん登場します。平安貴族達は楽の音溢れる煌びやかな極楽世界に憧れ、舞楽法会や管絃講での楽や舞に「極楽もかくこそは」(栄華物語)、「こは生きて仏の国などに来にけるにやあらん」(枕草子)とまで感じています。人々が極楽を感じた雅楽、その調べを再現したく、今回は仏教に縁の深い曲を集めてみました。

第一部では、声明と雅楽の付楽による「光明伽陀」、雅楽の曲に極楽を讃歎する歌詞をつけて歌う「極楽声歌」や、催馬楽「極楽は」を取り上げ、また仏前に舞い降りてきた十人の天人に因む「十天楽」など、仏教儀式に使われるいろいろな曲をお聴き頂きます。

第二部では、舞楽法会の儀式の中で、供養舞として舞われていた「迦陵頻」「菩薩」の舞楽をご覧ください。「十天楽」での供花に続く、仏前に供える重要な舞で、極楽の鳥の舞「迦陵頻」は今日でも人気の童舞(子供の舞楽)ですが、「菩薩」は、これまで復元されたものを参考に、今回新たに再興を試みます。

第一部 声明と付楽 光明伽陀

極楽声歌と管絃 五聖楽急、万歳楽

催馬楽 極楽は

管絃 十天楽

第二部 舞楽 迦陵頻

舞楽 菩薩

伶  
倫  
楽  
遊

2014年5月6日 火

午後2時開演 (開場1時半)

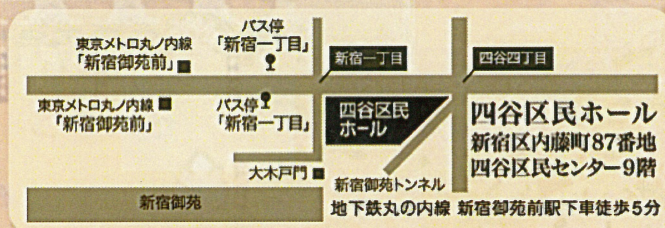
四谷区民ホール

前売・予約2,500円 当日3,000円 (全席自由席)

チケット申し込み: 枚数、氏名、連絡先(電話・ファクス番号)を明記の上、以下の方法でお申し込みください。後ほど御連絡いたしますので御確認ください。  
FAX: 03-5269-2011 (伶楽舎) \*ファクスのみの取り扱い(5/5、17:00まで)  
Eメール: ticket0506@reigakusha.com (5/4、17:00まで)

東京コンサートのHPから予約してセブンイレブンでチケットを受け取ることもできます。  
webチケット: <http://www.tokyo-concerts.co.jp>より申し込み  
東京コンサーツ: 電話予約: 03-3226-9755 (10:00~18:00/土日祝休み)  
チケット発売開始: 3月1日

一般社団法人伶楽舎 〒160-0012 新宿区南元町19-2 千日谷会堂内  
Tel&Fax: 03-5269-2011 <http://www.reigakusha.com>



音楽監督 芝祐靖  
企画主催 伶楽舎

伶楽舎 1985年に発足した雅楽演奏団体。音楽監督・芝祐靖。現行の雅楽古典曲だけでなく、廃絶曲や正倉院復元楽器、現代作品の演奏等、幅広い活動を展開。国内各地の他、米国、欧州諸都市で公演。2002年中島健蔵音楽賞特別賞受賞。

菩薩舞考証、客演: 峠幸男 (靈友会雅楽部)

荒川明英、石川高、岩亀裕子、北村茉莉子、小林勝幸、五月女愛、酒井麻椰、笹本武志、鈴木絵理、田口和美、田島和枝、田中康真、谷内信一、田淵勝彦、角田眞美、東野珠実、中村かほる、中村華子、中村仁美、野田美香、日比和子、平井裕子、福西賢、三浦礼美、宮田まゆみ、宮丸直子、村岡健一郎、本橋文、八百谷啓、八木千暁